

表紙のボクたち、ワタシたち



山口 ^{れんと}連人くん (4歳)
^{たくと}拓人くん (1歳5カ月)

^{みねさわ}藤沢町保呂羽字嶺沢

藤沢幼稚園ゆり組の連人くんはプラレールに夢中。電車が出てくる本やビデオに熱中しています。お絵かきも得意で、壁には連人くんが書いた電車の絵が貼ってあります。少し恥ずかしがり屋なところもありますが、おしゃべりも上手で元気いっぱい。

拓人くんはお外が大好き。1人で元気に散歩に出掛けてしまうので、目が離せないと家族は笑います。

おかあさんのひろみさんは「2人ともやさしく、たくましく、みんなに好かれるように素直に育てほしいです」と話しています。



おとうさん：^{まさし}政志さん
おかあさん：^{ひろみ}ひろみさん
おじいさん：^{ひろし}寛さん
おばあさん：^{ひさ子}ひさ子さん
ひいおじいさん：^{としお}寿雄さん
ひいおばあさん：^{たみ子}たみ子さん



思い出の一枚 145

この写真は、昭和17年4月に内野国民学校で内野男子青年団の仲間たちと撮影した写真です。

写真は徴兵検査をする前に撮影したもので、この翌年1月に志願し入隊、終戦は南方のテナアンで向かえました。テナアンでは有線電話の施設で働きました。当時はサイパンと連絡を取るために海底電線が張られており、空襲の度に線が切れるため夜通し復旧作業をしたものです。



小野寺 ^{せの}節穂さん(83)
一関市大東町大原字古小屋

終戦57年後の平成13年に当時の戦友たちとテナアンへ行ってきましたが、今も当時の仲間たちと連絡を取っています。昔は人と人との繋がりが深くお互いに助け合っていたものです。今はその繋がりが薄くなつてきていますが、昔のような繋がりが戻ってほしいと願っています。

※傷みがひどかった白黒の写真をカラーに復元し、当時の思い出が鮮やかによみがえりました。